

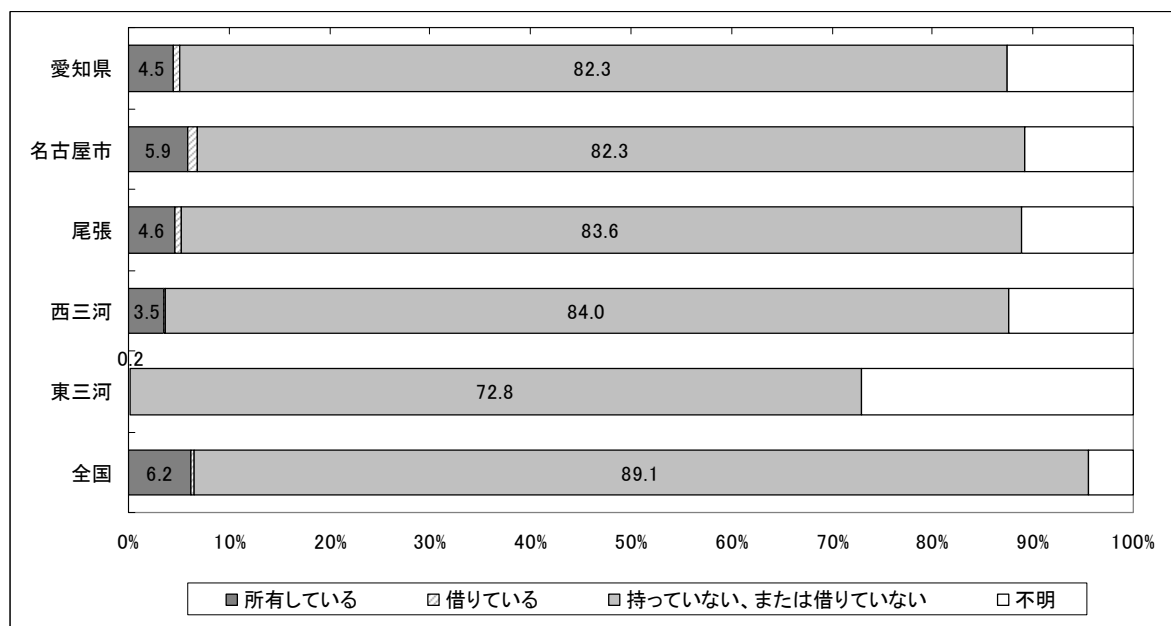
8. 別荘やセカンドハウスの所有

①愛知県、地域別

別荘やセカンドハウスについて、既に「所有している」または「借りている」世帯の割合は、名古屋市で6.8%、尾張で5.2%、西三河で3.6%、東三河で0.2%となっている。このうち、名古屋市では「所有している」が5.9%と県内地域の中では最も高いが、全国値(6.2%)と比較すると若干低くなっている。

(図-133) (表-77)

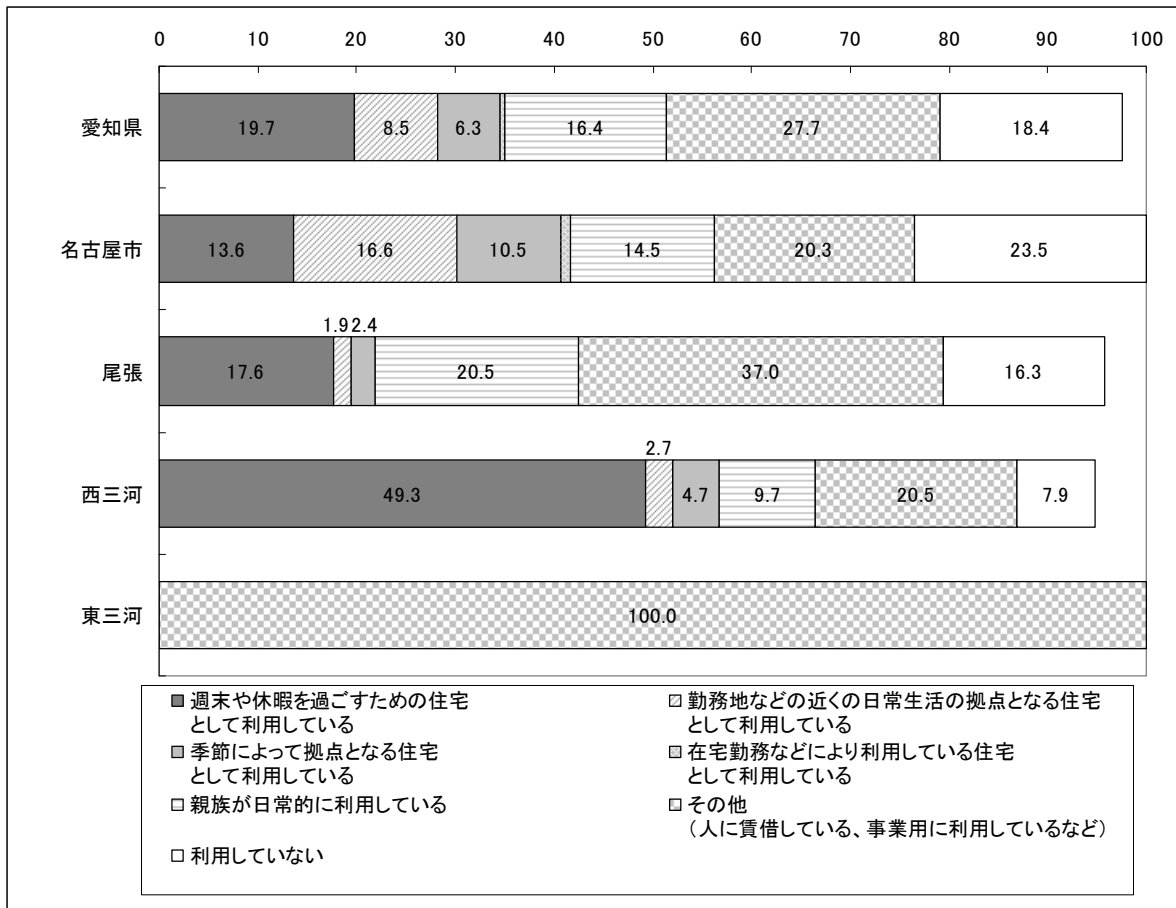
図-133 別荘やセカンドハウスの有無



別荘やセカンドハウスの利用状況を地域別にみると、西三河では「週末や休暇を過ごすための住宅として利用している」が49.3%と最も多くなっている。これに対し、名古屋市では「週末や休暇を過ごすための住宅として利用している」(13.6%)よりも「勤務地などの近くの日常生活の拠点となる住宅として利用している」が16.6%と上回っている。一方、尾張では「週末や休暇を過ごすための住宅として利用している」(17.6%)よりも「親族が日常的に利用している」が20.5%と上回っている。

(図-134) (表-77)

図-134 別荘やセカンドハウスの利用状況(地域別)



②住宅タイプ別（持家・借家別）

持・借別にみると、別荘やセカンドハウスを「所有している」または「借りている」世帯の割合は、持家で高くなる傾向がみられ、県内の地域別でみると、特に西三河や尾張でその傾向が顕著である。これに対し、名古屋市では借家で「所有している」と回答している割合が4.8%と他地域に比べて多くなっている。

別荘やセカンドハウスの利用状況をみると、「週末や休暇を過ごすための住宅として利用している」は持家（18.4%）よりも借家（24.1%）の方が割合が高く、「勤務地などの近くの日常生活の拠点となる住宅として利用している」や「親族が日常的に利用している」割合についても同様の傾向を示している。（図-135）（図-136）（表-78）

図-135 地域別、持家・借家別、別荘やセカンドハウスの有無

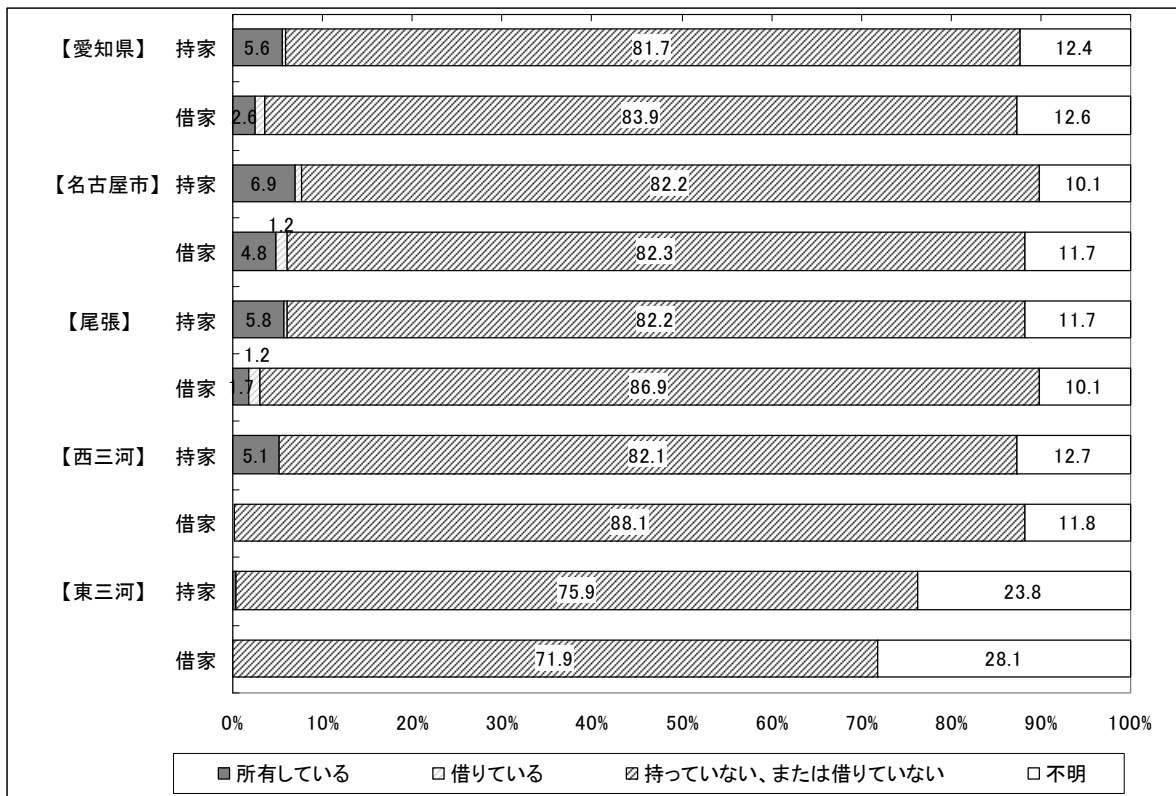
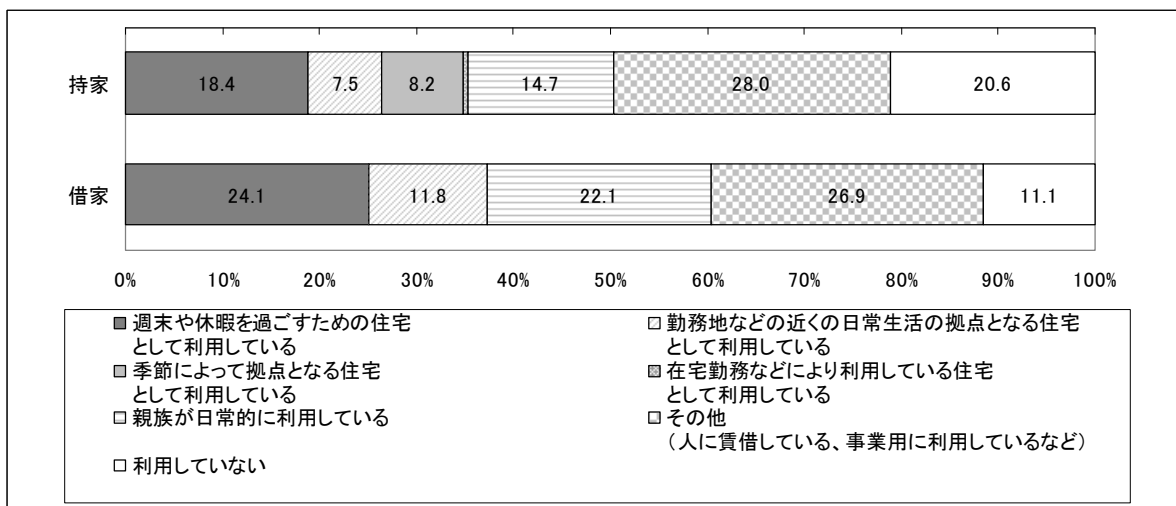


図-136 持家・借家別、別荘やセカンドハウスの利用状況

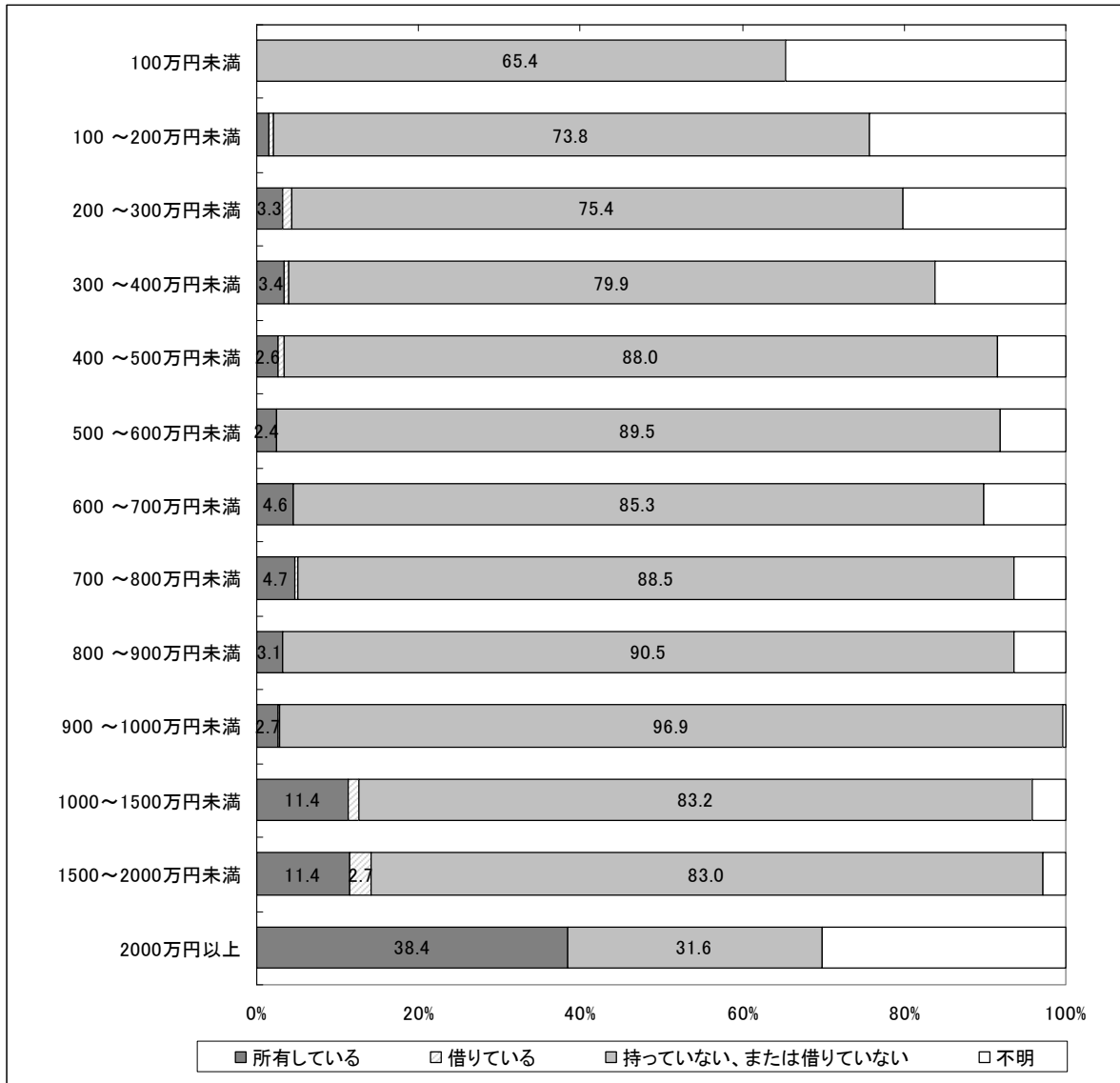


③収入階層別

収入階層別にみると、別荘やセカンドハウスを「所有している」または「借りている」割合は、収入が多いほど高くなる傾向がみられ、特に年収 1,000 万円以上の世帯では「所有している」割合が 10%を超え、さらに年収 2,000 万円以上になると 38.4%と突出している。

(図-137) (表-79)

図-137 収入階級別、別荘やセカンドハウスの有無



④家計を主に支える者の年齢別

家計を主に支えている者（世帯主）の年齢別にみると、別荘やセカンドハウスを「所有している」または「借りている」割合は、50歳代後半にかけて高まる傾向がみられるが、「55～59歳」（10.0%）をピークに高齢になるほど割合が低下している。

（図－138）（表－80）

図-138 家計を主に支える人の年齢別、別荘やセカンドハウスの有無

